

ぼうさい
防災ってなんですか？

ぼうさい さいがい
1. 「防災」と「災害」

ぼうさい さいがい ふせ さいがい ひと お しぜんさいがい
『防災』とは災害を防ぐことです。災害には「人が起こす」と「自然災害」
があります。ひと お さいがい き お ふせ
人が起こす災害は、わたしたちが気をつけることで防ぐことができる
さいがい しぜんさいがい お ふせ むずか さいがい
災害です。でも、自然災害はいつ起こるかわからないので、防ぐことが難しい災害
です。ですから、さいがい お じゅんび ひつよう
災害が起こったときのために、いろいろ準備をしておく必要があ
ります。

- | | | | |
|------------------------|--------------------|------------------------|--------------------|
| ア じしん
地震、 | イ たいふう
台風、 | ウ おおあめ
大雨、 | エ つなみ
津波、 |
| オ こうずい
洪水、 | カ おおゆき
大雪、 | キ こうつうじこ
交通事故、 | ク せんそう
戦争、 |
| ケ れっしゃじこ
列車事故、 | コ かじ
火事 | | |

ひと お さいがい
人が起こす災害：[]

しぜんさいがい
自然災害：[]



しぜんさいがい お
自然災害はいつ起きるかわからない！

2. 地震が起きた！ あなたは大丈夫？！

あなたは自分の部屋にいます。

地震が起きました！

すごく揺れています！

どうしますか？



(気象庁 HP より)

《 家にいるとき 》

- 家具が移動したり、物が落ちてきます。身を守るため、頭を保護しながら、丈夫な机の下などに隠れる
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末をする。火元から離れているときは無理に火を消しに行かない
- ドアを開けて逃げられるようにする
- あわてて外に飛び出さない

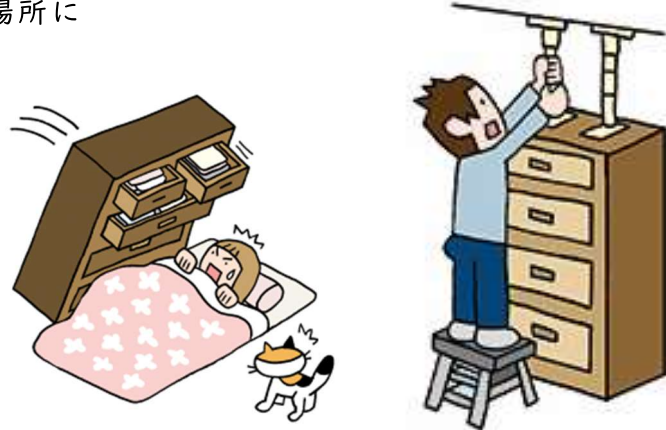


★ 部屋の中は安全ですか？ 地震が来る前に確認しましょう

家具はし字金具などで固定する

棚の下のほうには重いもの、上のほうには軽いものを置く

ベッドは家具が倒れない場所に



3. 災害への準備

揺れがおさまりました。今は、揺れていません。

このあと、どんな問題が起きると思いますか？



古いビルが壊れたり、物が落ちてくるかもしれません。

電話がつながりにくくなるかもしれません。

車やバスが通れなくなるかもしれません。

電車が動かなくなるかもしれません。

★ ^{すいどう} 水道、^{でんき} 電気、^{ガス} ガス、^{でんわ と} 電話が止まってしまったら、どうしますか？

ふだんからどんな ^{じゅんび} 準備をしておいたらいいと思いますか？



^{ひなん} 避難するときに、^{も だ} すぐに持ち出すものをバックにまとめておきましょう。

^{さいがい} 災害がおきたときのために、^{いえ} 家に ^{みつかぶんいじょう} 3日分以上の ^の ^た 飲みものと ^{もの} 食べ物を ^{じゅんび} 準備しましょう。

《 ローリングストック 》

ふだんの ^{しょくりょうひん} 食糧品の中で ^{なか} 保存できるもの(レトルト ^{しょくひん} 食品や缶詰 ^{かんづめ} など)を ^{おお} 多めに

^か 買って、^{にちじょうせいかつ} 日常生活で ^{しょうひ} 消費したらその分を ^{ぶん} 補充 ^{ほじゅう} する「ローリングストック」を

^{おこな} 行えば、^{しぜん} 自然に ^{さいがい} 災害への ^{じゅんび} 準備ができます。

^{とくべつ} 特別に ^{さいがいよう} 災害用の ^{しょくりょう} 食糧 ^か を買っておくのでは

なく、^た 食べながら ^{ほじゅう} 補充 ^{しょうみきげん} するので ^{しょうみきげん} 賞味期限が

^き 切れてしまう ^{しんぱい} 心配もありません。



4. 避難所について

いえ こわ へや あぶ い
家が壊れてしまいました。部屋にいたら、危ないです。どこに行ったらいいですか？

ちか ひなんじよ に ばしよ かくにん
近くの避難所<逃げるところ>の場所を確認しておきましょう。

① 一時避難場所

さいがい お ひなん ただ じょうほう し あんぜん
災害が起きたら、とりあえず避難して、正しい情報を知ることができる安全な

ばしよ
場所。

② 広域避難場所

だいかさい お かさい ほのお ふくしゃねつ けむり いのち まも
大火災が起きたとき、その火災による炎・輻射熱・煙から命を守るために

ひなん ばしよ
避難する場所。

③ 避難生活施設(指定避難所)

さいがい いえ す かた いちじてき せいかつ おこな しせつ
災害などにより、家に住むことができない方が一時的に生活を行う施設です。

さいがい じょうきょう しない しりつしょう ちゅうがっこう こうこう しょ ひなん
災害などの状況により、市内の市立小・中学校、高校など33か所に避難

じよ かいせつ
所が開設されます。

ひなんじよ みず た ひつよう じょうほう し
避難所では、水、食べものをもらうことができます。必要な情報を知ることができます。



5. ハザードマップをみてみましょう！

①あなたの^す住んでいるところは、^{こうずい きけん}洪水の危険がありますか？

②^{おお}大きな^{じしん}地震があったとき、どこに^{ひなん}避難しますか？

③^{いえ}家からどうやって^い行ったらいいですか？

^{さいがい たい そな}災害に対する備えは「そのうちやろう…」と、つい^{あとまわ}後回しにしがちですが、「あのと

^{いえ}きやっておけばよかった」と^{こうかい まえ}後悔する前に、^{はじ}ぜひできることから始めてみてください。

おつかれさまでした。